

未就園児向けお取組みのご紹介

1. 図形



パターンブロック

お子さまたちが大好きな積み木やパズルで遊びながら多角的にとらえる力や柔軟な発想力を鍛えます。積み木では色々な角度から見ることで、目に見えている部分だけでなく見えない部分にある積み木を想像できるようになります。お手本とおりにつくる力と自由につくる力をバランスよく伸ばします。

2. 記憶



リュックサックのなかみはなあに？

記憶力と集中力は密接に関係しています。さあ覚えましょう！の掛け声で瞬時に集中することができるようになるには繰り返しの練習が必要ですが、まずは覚える対象物がお子さんにとって面白いことが大切です。様々工夫をこらした記憶教材で記憶のコツを楽しく身につけます。

3. ことば



これはなにかな？

言葉の数が多いことと、それを理解してうまく使えることは違います。相手の言うことを理解したり、自分の考えを正確に伝える力は幼児期の上質なことばのキャッチボールによって養われます。「これはなにかな？」にとどまらず、「どこにいるかな？」「みたことあるかな？」などの臨機応変な質問で会話力を鍛えます。

4. かず



すうじいくつかな？

まずは1から5までの数字を、唱えるだけではなく概念として身につけます。おはじきやミニチュアを自分で動かしながら手と目をつかって数を体験します。数の概念こそプリントではなく具体物中心の楽しい教材を使うことで、数字とその数の分量がしっかり結びつきます。

5. ちえ



まるちゃんマグネット

色や形、大きい・小さい、推理、同じものの発見、分類、組み合わせなど、就園前に触れておきたい概念様々な角度から繰り返し楽しめます。お子さまはちえを身につけることで日常生活のなかでも自然とそれを楽しく応用できるようになり、考えかたの幅がぐんと広がります。



6. 巧緻性



ビーズとおし



いろぬり



はさみ

すべての取り組みのなかでもマンツーマンでなければ指導が一番難しいのが、巧緻性を養うお取組みです。やってあげるのではなく、適切なデモンストレーションと声かけで、お子さまが自分でできるように導きます。楽しく手先を使うお取組みでお子さまは素晴らしい充実感やできた喜びを実感し、ますますそれが好きになられます。手先が器用になれば賢くなるとは決まっておきませんが、賢いお子さまは手先が器用でいらっしやるのがほとんどです。5本の指すべてをつかうハサミのお取組みにも力を入れております。

ミセス サリウワン®

